

第 43 回 沖縄県児童養護研究大会 開催要項

大会スローガン

『子ども育ちを支え、明日を拓く』

- 1. 趣 旨**
- 少子化が進行するなかにおいて、児童虐待相談対応件数が依然として高水準で推移するとともに、昨今の社会・経済状況等を起因とした物価高騰による影響は子育て世帯・ひとり親世帯へ大きく影響を及ぼしており、子ども・子育て家庭をめぐる課題は複雑化するとともに厳しさを増しております。
- その一方、沖縄県においても、令和7年度から後期の「沖縄県社会的養育推進計画」が開始され、生まれ育った環境に左右されることなく、いきいきと暮らせる「誰一人取り残さないこどもまんなか社会」の実現に向けた具体的な実践段階へと移行しております。
- こうした社会的養護をとりまく状況が大きく変わりゆくなかで、社会的養護の施設等は、24時間365日、緊急的かつ重篤な課題や複雑・多様なニーズがある子どもや母子の個別的養育・支援を担ってきた専門性を活かし、入所児童・生徒の養育及び母子、里親、地域の保護・支援を必要とする子どもやその家族への支援を展開していくことが求められております。
- 本研究大会は、県内の児童福祉関係者が一堂に会し、子どもの権利擁護と最善の利益保障を考えるとともに、子どもの健全な育成と自立に向けた取り組み強化に資することを目的に開催します。

- 2. 主 催** 社会福祉法人 沖縄県社会福祉協議会、沖縄県児童養護協議会
- 3. 日 時** 令和8年10月30日（金） 9時50分 開会（受付9時30分～）
- 4. 会 場** 沖縄県総合福祉センター ゆいホール 他3会場

5. 日程及び内容

9:30	9:50	10:00	10:45	12:15	13:30	16:00
受付	開会	行政説明	講演	昼食	研究部会	終了

■10:00～10:45

【行政説明】 「沖縄県のこども福祉行政について」（仮題）
－調整中－

■10:45～12:15

【講演】 演 題 「あらためて社会的養護における子どもの権利擁護を考える」
講 師 山田 勝美 氏（山梨県立大学 人間福祉学部 教授）

■ 13:30 ~ 16:00

【研究部会】 ＊定員数 各 65 名

第1研究部会：子どもの声や想いに寄り添った支援について

第2研究部会：食物アレルギーを持つ児童の支援について

第3研究部会：発達特性を持つ児童の自己実現の支援について

6. 講演 「あらためて社会的養護における子どもの権利擁護を考える」

講師：山梨県立大学 教授 山田 勝美 氏

★講師プロフィール★

山梨県在住。児童養護施設長を経て、現職に就く。
山梨県立大学では子ども家庭福祉・ソーシャルワークを専門領域とされている。また、こども家庭庁子ども・子育て推進調査研究事業委員、全国児童養護施設協議会中央推薦協議員・児童養護編集委員会委員等もつとめている。



7. 研究部会 ※ 詳細については、下記のとおり。

第1研究部会	子どもの声や想いに寄り添った支援について	
	日本が批准している国際条約の一つでもある「児童の権利に関する条約」には、その根源的理念の中に「子どもの最善の利益」「子どもの意見の尊重」がある。 支援者は、日頃の養育の中で、子どもの発せられる声だけでなく、言葉にできない想いや考えなど、子ども達の中にある“こえ”を受け止め、最善の配慮や支援等が求められています。 本研究部会では、子どもに寄り添った支援を進めていくための体制や支援の提供方法を理解するとともに、子どもの権利擁護の推進のための取り組みを深めることを目的とする。	
	運営方法	実践発表、グループ討議
	助言者	山梨県立大学 教授 山田 勝美 氏
	発表者	美さと児童園 統括主任 渡久山 慶一 氏 心理士 浦川 翔 氏

第2研究部会	食物アレルギーを持つ児童の支援について	
	児童福祉施設等で生活する児童の中には、重篤な食物アレルギーを有する児童もあり、職員はその児童のアレルギー特性について十分に理解して対応する必要がある。 また、アレルギーを有する児童によっては、生活するうえで様々な制限を受け、体験や機会を喪失しているケースも少なくない。 本研究部会ではアレルギーを有する児童への寄り添った支援や、アレルギーに関する正しい知識、基本的な対処法等を学ぶことを目的とする。	
	運営方法	講義形式、グループ討議
	講 師	大田 なつき 氏 (沖縄アレルギーゆいまーの会 管理栄養士)
第3研究部会	発達特性を持つ児童の自己実現の支援について	
	児童福祉施設等で生活する児童の中には、心身の状況に課題がある、またはその疑いがあるケースが増えている。支援者においては、多様化する支援ニーズを捉え、より良い支援が求められている。 本研究部会では、発達特性を持つ児童の自己実現に向けた支援に関する理解並びに支援策を学ぶこと目的とする。	
	運営方法	実践発表、グループ討議
	助言者	沖縄県発達障害者支援センターがじゅま～る －調整中－
	発表者	児童養護施設なごみ 家庭支援専門相談員 宮城 裕希 氏 主任児童指導員 岸本 善也 氏

8. 参加対象

児童養護施設、乳児院、児童自立支援施設、児童心理治療施設、自立援助ホーム、母子生活支援施設、県母子寡婦福祉連合会、県里親会及び里親、児童相談所、保育所、福祉事務所等児童福祉関係者、市町村社会福祉協議会、沖縄県こどもの居場所ネットワーク参加団体、民生委員・児童委員、学校関係者、学生 他

9. 参加費

1人につき 4,400円

(参加費 4,000円 消費税 400円 ※消費税率 10%)

※参加費の中に弁当代も含まれます。

学生のみ1人につき 1,100円

(参加費 1,000円 消費税 100円 ※消費税率 10%)

※参加費の中に弁当代も含まれます。

(1) 必要な方には「適格簡易請求書」を発行しますので、担当者までお声かけください。

(2) 本会の適格請求書発行事業者登録番号(インボイスナンバー) T4360005000294

10. 申込締切 令和8年10月19日(月) 17時まで

11. 申込方法 (1) 本会ホームページからお申込みください。

「受講申込入力フォーム」へアクセスし、必要事項を入力の上、送信してください。

<https://www.okishakyo.or.jp/workshop/>



※最終ページで「自分にも送信内容のメールを送る。」に必ず✓マークを入れてください。受付完了後、確認メールが登録されたメールアドレスに自動送信されます。(確認メールが届かない場合はお問い合わせください)。

- (2) お申し込みと合わせて下記本会指定口座へ参加費をお振込みください。
- (3) 振込手数料は申込者にて御負担ください。
- (4) 申込後のキャンセルについては返金致しません。
- (5) 参加費の現金納付は受け付けいたしません。

金融機関 : 琉球銀行 石嶺支店 普通預金
口座番号 : 315935
口座名義 : 社会福祉法人 沖縄県社会福祉協議会 会長 湧川昌秀
フリガナ : フク. オキナワケンシャカイフクシキョウギカイ

※お振り込み者が確認できるよう。必ず御依頼人名(施設名)を先に御記入ください。

【記入例】「△△園」または「△△園 児童養護施設」と御記入ください。

「児童養護施設 △△園」はNGです。

(通帳記帳の際に「ジドウヨウゴ シツ…」となり確認できません)

12. 自然災害等による研究大会中止の場合

(1) 参加費については、振込手数料を差し引いた金額を返金いたします。

※自然災害等による研究大会の中止または延期等の御案内は本会ホームページにて掲載いたします (<https://www.okishakyo.or.jp/>)。

13. 個人情報のお取り扱い

申込フォームに入力された個人情報は、当研究大会の運営管理の目的のみに使用し、他の目的に使用することはありません。

14. 申込先及びお問合せ先

沖縄県児童養護協議会・事務局(担当:大城、重田)

社会福祉法人 沖縄県社会福祉協議会 施設団体福祉部

〒903-8603 那覇市首里石嶺町4-373-1(西棟4階)

TEL: 098-887-2000 FAX: 098-887-2024

E-mail: jiyoukyo@okishakyo.or.jp